

令和5年2月7日

令和5年4月入学者向け(A)および
全学年向け追加募集(B)
奈良女子大学博士号取得支援SGCフェローシップ
奈良女子大学博士後期課程学生支援SGC+プロジェクト
募集要項

奈良女子大学 大学院人間文化総合科学研究科
奈良女子大学博士号取得支援SGCフェローシップ運営委員会
奈良女子大学博士後期課程学生支援SGC+プロジェクト運営委員会

1. 募集概要

本学は、文部科学省の令和2年度科学技術人材育成費補助事業である、科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業の実施機関に採択され、「奈良女子大学博士号取得支援SGCフェローシップ」を創設しました。また、科学技術振興機構(JST)の令和3年度「次世代研究者挑戦的研究プログラム」の実施機関に採択され、「奈良女子大学博士後期課程学生支援SGC+プロジェクト」を創設しました。これらの制度は、優秀な女子学生が経済的負担や学位取得後のキャリアパスに過大な不安を抱えることなく、博士後期課程へ進学し研究できる体制を構築することを目的としています。これらの事業では、3年間の標準修業年限内(長期履修学生の場合、申請履修年限内)に博士の学位を取得し、学位取得後のキャリアへのスムーズな移行が可能となるよう、海外派遣や企業等におけるインターンシップを取り入れつつ、研究力の向上やキャリアパスの確保へ向けた支援策が計画されています。申請者におかれましても、主・副指導教員の方々と十分相談の上、上記の目標が達成可能となるよう、入念な研究計画を立て、自己研鑽に励んでいただくことが求められます。また、指導教員の方々には、上記修業年限内での学位取得に向けた支援体制について、一層の強化をお願いしております。

本学は、教育研究の理念「男女共同参画社会をリードする女性人材養成」に基づき、令和2年度に博士後期課程の全面的な組織改編を行いました。この組織改編では、専門知識に加え、物事を俯瞰する力の育成を強化することで、より高度な主体的判断力・主体的行動力・課題発見力を身につけ、答えのない問題に挑戦していくことのできる女性人材を育成することに力点をしています。その延長線上には、社会の指導的地位につく女性として、“ガラスの天井”を打ち砕く(Shattering the Glass Ceiling=SGC)姿が期待されています。なお、「SGCフェローシップ」と「SGC+プロジェクト」では、後者では海外派遣またはインターンシップを義務付ける点、および研究奨励費(生活費相当額)と研究費の額が異なります。

以上の趣旨に則り、令和5年4月入学者対象のSGCフェローシップ・SGC+プロジェクトの募集を以下のとおり行います。

2. 申請書受付期間 令和5年3月3日(金)~3月10日(金)12:00 締切

3. 募集人数

(A)新規募集分: 令和5年4月(春季)入学予定者 SGC:2名、SGC+:2名

(B)欠員補充分募集

SGC:令和3年4月以降の入学者または令和5年4月入学予定者 2名(令和6年9月末までの支援 1名,令和7年3月末までの支援 1名)

SGC+:令和3年4月以降の入学者または令和5年4月入学予定者 1名(令和7年3月末までの支援 1名)

4. 申請・受給資格

申請資格を有する者は、以下の通りです。

- (A) 令和5年4月本学大学院博士後期課程入学予定者
- (B) SGCフェローシップ及びSGC+プロジェクトの欠員補充分：令和3年4月から令和4年10月までの本学大学院博士後期課程入学者、または令和5年4月入学予定者

対象となる者の例(注1)：

- ・経常的な収入を得る仕事に就いていない者で、標準修業年限内での学位取得が可能な学生（社会人経験者を含む）
- ・収入が年額240万円以下の社会人(注2)
- ・長期履修学生（ただし支援はD3の終わりまで）
- ・本国から奨学金等の支援を受けていない私費留学生
- ・SGCフェローシップ、SGC+プロジェクトの内定者

対象とならない者の例(注1)：

- ・支援を受ける期間に休学中である者
- ・3年を超えて博士後期課程に在学している者
- ・年額240万円を超える収入のある社会人(注2)
- ・国費留学生および本国から奨学金等の支援を受けている留学生
- ・独立行政法人日本学術振興会特別研究員(注3)
- ・SGCフェローシップ、SGC+プロジェクトの現受給生

なお、受給期間中に、上記「対象とならない者の例」のいずれかに該当することとなった場合は、受給資格を失うものとします。

(注1) 詳細についてはお問い合わせください。

(注2) 社会人とは、経常的な収入を得る仕事に就いている者、および主婦を指します。

(注3) 授業料免除、授業料を援助するための奨学金の受給などとの重複は認められます。研究活動に差し障りのない範囲でのアルバイト(含、TA、非常勤講師等)も認められています。

5. SGCフェローシップ・SGC+プロジェクト支給対象学生の義務

1) 現況報告書の提出

研究活動の取組状況を半期毎に報告し評価を受けること

2) SGCフェローシップ・SGC+プロジェクトと関連する授業の履修

博士後期課程2回生終了時まで、博士後期課程大学院共通科目の「自己分析・ワークスタイルセミナーA・B」「キャリアセミナー(ビジネススキル・インターンシップほか)A・B」(各1単位)の中から1単位以上を履修すること

3) メンターチームとの面談

半期毎にメンターチームとの面談に臨むこと

4) 研究成果発表

SGCフェローシップ・SGC+プロジェクト受給終了時まで、公開での研究成果発表を実施すること

【※SGC+プロジェクト生対象】

5) 海外派遣またはインターンシップを実施すること

なお、上記義務の履行状況については、奈良女子大学博士号取得支援SGCフェローシップ運営委員会・奈良女子大学博士後期課程学生支援SGC+プロジェクト運営委員会で確認し、義務の履行状況に問題があると判断された場合には、支援金受給資格を喪失したものと扱い、再募集による欠員の補充を行います。

6. 支給額と内訳

■ SGCフェローシップ

本募集申請が採択された場合、4月から研究専念支援金として16万円/月を原則として、標準取得年限内での博士の学位取得時まで支給します。したがってフェローシップ採択時以降令和8年3月末までが最長の支給対象期間（長期履修生の場合、最長でD3の終わりまでの支援）となります。ただし、欠員補充分(B)の場合は、令和3年4月以降入学者については、令和6年9月末までの支援が1名、令和7年3月末までの支援が1名となります。

また、年間18万円の研究費を支給します（ただし採択時期に応じた月割りの減額有）。研究費の会計処理上、年度毎に研究費の未使用額が発生した場合には、その未使用額を返却していただくこととなります。

加えて、令和5年度の授業料（535,800円）が免除となります。授業料免除は令和6年度以降も在学中は継続されることが予定はされていますが、国の令和6年度以降の予算の状況により変更があり得ることを申し添えておきます。

■ SGC+プロジェクト

本募集申請が採択された場合、4月から研究奨励費：18万円/月を原則として最大3年間（36か月）支給します。したがって、プロジェクト採択時以降令和8年3月末までが最長の支給対象期間（長期履修生の場合、最長でD3の終わりまでの支援）となります。ただし、欠員補充分(B)の場合は、令和7年3月末までの支援が1名となります。また、標準年額44万円の研究費を支給します。海外派遣またはインターンシップ支援費については標準年額30万円、海外派遣については最大50万円まで申請可能です。ただし長期履修生の場合、最長でD3の終わりまでの支援となります。早期卒業者については学位取得期末までが支給対象期間となります。また、年度毎に研究費・支援費の未使用額が発生した場合には、その未使用額を返却していただくこととなります。

なお、両支援においては国の予算の状況により変更があり得ることを申し添えておきます。

7. 申請書類

申請書類の様式は10.に問い合わせせて取り寄せてください。

8. 選考方法

申請者に申請書（履歴、研究活動実績、研究計画等を含む；様式1）の提出を求めるとともに、併せてSGCフェローシップについては指導教員等からの推薦書（様式2）、SGC+プロジェクトについては活動計画書（様式3）の提出も求め、必要に応じて面接（申請者による口頭発表と質疑応答を含む）を実施し、これらを総合して選考を行います。なお面接を行う場合、令和5年3月20日（月）～3月28日（火）の期間中に実施予定です。面接までの期間が短いので、申請者はあらかじめ面接の準備をお願いいたします。詳細は申請書類受理後にお知らせします。また審査結果は、令和5年3月末までに電子メールにより申請者に直接連絡します。

9. 申請書・推薦書等の提出方法および提出先

【申請書】（様式1）SGC、SGC+に同時に応募する場合、申請書は共通で構いません

- ・申請書類は、PDFファイル形式で保存し、添付ファイルで下記宛先まで電子送信してください。
- ・申請書のファイル名を「〇〇〇〇-202303SGC申請書」（〇〇〇〇は申請者氏名）としてください。
- ・送信メールの件名を「〇〇〇〇-202303SGC申請書」としてください。

【推薦書】（様式2）SGCのみに必要

SGC フェローシップ、SGC+プロジェクト

- ・推薦書は、推薦書作成者がPDFファイル形式で保存し、添付ファイルで直接、下記宛先まで電子送信していただけるよう、申請者から依頼してください。
- ・推薦書のファイル名を「OOOO-202303SGC推薦書-△△△△」（OOOOは被推薦者の氏名、△△△△は推薦書作成者氏名）としてください。
- ・送信メールの件名を「OOOO-202303SGC推薦書-△△△△」としてください。

【活動計画書】(様式3) SGC+のみに必要

- ・活動計画書のファイル名は「OOOO-202303SGC+活動計画書」（OOOOは申請者氏名）としてください。
- ・申請書と同時に送ってください。

(送信先Emailアドレス)

(SGCフェローシップ) nwu-sgc@cc.nara-wu.ac.jp

(SGC+プロジェクト) nwu-sgcplus@cc.nara-wu.ac.jp

*両方に申請する場合、両アドレスにお送りください(同時送信可)。

- ・申請書、推薦書の提出を受けた場合、受領した旨の返信メールをお送りします。
- ・3月10日(金)17:00までに上記の返信メールが届かない場合、メールまたは電話で、「10. 問い合わせ先」に確認してください。

10. 問い合わせ先

〒630-8506 奈良市北魚屋西町

奈良女子大学 学務課大学院係

(奈良女子大学博士号取得支援SGCフェローシップ、SGC+プロジェクト担当)

Tel/Fax 0742-20-3208

Email nwu-sgc@cc.nara-wu.ac.jp, nwu-sgcplus@cc.nara-wu.ac.jp

URL <http://www.nara-wu.ac.jp/daigakuin/index.html>